

今日のトピック

インドネシアが予想外の利下げ

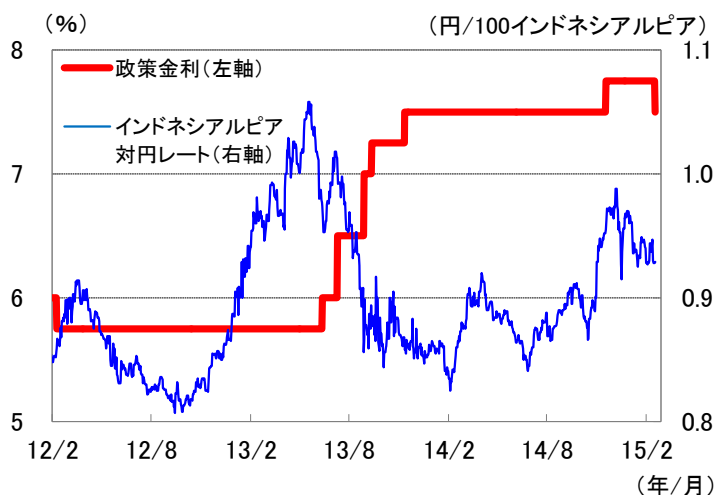
ポイント1 政策金利を0.25%引き下げ

利下げは3年ぶり

■インドネシア銀行（中央銀行、以下中銀）は17日、政策金利を0.25%引き下げ7.50%にすることを発表しました。ブルームバーグの集計によると、エコノミスト20名全員が政策金利の据え置きを予想しており、予想外の決定になりました。

■原油安などを背景に、中国、ロシア、トルコなどの新興国で金融緩和が目立っており、インドネシアも2012年2月以来およそ3年ぶりの利下げとなりました。

インドネシアの政策金利と為替レート



ポイント2 景気テコ入れをねらう

物価の安定化を見込む

■中銀は、原油安や野菜など食品価格の落ち着きなどを背景に、物価上昇率が今年から来年にかけて目標（年+4%±1%）レンジ下限近くで推移するとの見方を示しました。物価が落ち着く見通しを背景に、利下げによる景気テコ入れをねらったと見られます。

■中銀は、インドネシアルピア安により、製品などの輸出が増加する一方、消費財の輸入が減少し、経常収支が改善方向にあることを強調しています。海外からの投資が大幅な流入超過となり、外貨準備が増加したこともあり、中銀がルピアの安定化に自信を深めた様子もうかがわれます。

消費者物価指数



(注) 政策金利とインドネシアルピアは2012年2月1日～2015年2月17日。
消費者物価指数は2012年1月～2015年1月。

(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

ジョコウィの構造改革が成長を下支え、追加利下げには通貨動向がカギ

■ジョコウィ大統領は昨年10月に就任後、補助金削減などで財政再建に取り組んでいます。また、外国企業の投資手続き簡素化なども進めています。こうした改革により海外からの投資が拡大し、中長期的に経済成長率が高まると期待されます。

■政府による構造改革への期待は、ルピアの下支え要因です。一方、米国では今年半ば以降に利上げが見込まれており、ルピアの上値を抑えそうです。追加利下げは、ルピアの動向などを見極めながら、慎重に検討されると思われます。

ここも チェック!

2015年02月09日 「ジョコウィの改革」が進展(インドネシア)

2015年01月07日 アジアで期待の「インバウンド消費」(アジア)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。